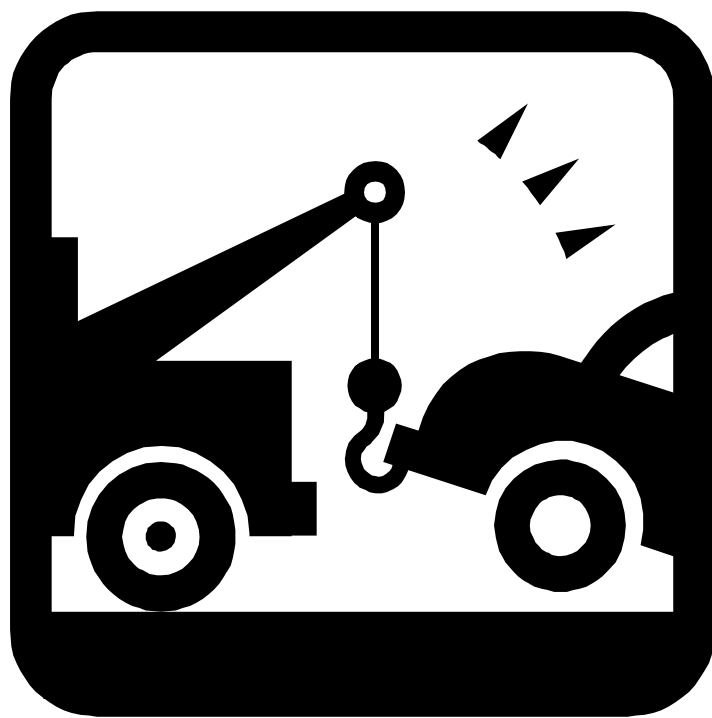


愛車に長く乗りたければコレを読め！

誰でもできる愛車の健康診断！  
自動車メンテナンスかんたんガイド



はじめに

この無料レポートは、主に運転初心者やクルマが苦手な方はもちろん、運転歴の長い方にも少しでも愛車をいたわる気持ちをもっていただき、長く愛車と付き合っていただくために、最低限しておきたい基本的なメンテナンス項目について記したものです。

カーメンテナンスは車と上手に付き合っていくうえで、とても大切なことです。

あなたの車・使用状況・環境に合ったメンテナンスでカーライフはとても快適になります。

日頃から、しっかりしたメンテナンスを受けていれば慌てることも無く急な高額出費も抑えることができます。

そもそも、故障の原因の多くがメンテナンスをしてなかったためであるなら、故障すれば当然本来するべきだったメンテナンス + 修理代になりますからね。

しかしメンテナンスという言葉聞いて、「面倒だ」「何をすればいいのかわからない」「いつ?」「どこで?」と言われる人も多いのではないのでしょうか。

本レポートでは、そんなあなたのために、最低限チェックすべき項目とチェックポイントを分かりやすく解説しています。

基本的には自分でチェックすることをオススメしますが、自分でチェックすることが面倒だったり、よく分からないという方は、ガソリンスタンドの無料点検などでプロの方に見てもらえば OK です。なので、気楽に読んでみてください。

あくまでも、最低限どういう部分に気を配っていたらよいのかが分かっていたら十分だと思います。

本レポートがあなたの快適カーライフの一助になれば幸いです(^O^)

## (1)エンジンオイル

エンジンオイルは、自動車の心臓部であるエンジンを潤滑しています。

エンジンオイルは使用により劣化(クルマを運転しなくても時間が経てば劣化します)するため、この潤滑機能を保つためには、走行距離や使用期間に応じて交換する必要があります。

### 【エンジンオイルの交換時期目安】

前回交換から 3000km ~ 5000km 走行 又は 6 ヶ月経過

オイルが劣化する原因は、エンジン内の発熱、水分の混入、未燃焼ガスの影響などさまざまです。

“オイル代がもったいないから車検(2年に1回)の時に交換すればいいんじゃないの?”とか、“エンジンオイルって何?”という方は、非常に危険ですよ！

エンジンオイルの劣化具合は、ガソリンスタンドで無料で点検してもらえるので、今すぐにも見てもらってくださいね。

エンジンオイルの交換をサボっていると、エンジンを潤滑する能力が落ちてくるので、クルマのパワーが落ちたり、燃費悪化などの初期症状が出てきます。

それでもまだ交換しないでいると、エンジンの損傷や焼き付を起こし、最終的にはエンジンが壊れてしまいます。

少しの出費を惜しんだばかりに何十万円もの修理費がかかってしまったのでは全く意味がありません！

エンジンオイルは定期的に交換してくださいね(^O^)

## (2)冷却水

一般的に LLC (ロングライフクーラント) と呼ばれ、エンジンの熱を冷却する液体です。水と混ぜて使用します。

水に混ぜて使用することで、冷却水の沸騰温度を引き上げると同時に凍結温度を下げるすることができます。

冷却水の役割として、以下の3つがあります。

オーバーヒートの防止  
冷却水の凍結防止  
冷却水配管の腐食防止

冷却水は水と混ぜて 20 ～ 60 % の適正濃度で使用しなければなりません。

適正濃度を守らずに使用すると、エンジンの冷却能力が劣ってオーバーヒートを起こしたり、冬場には冷却水が凍結して冷却水の配管を破裂させてしまう可能性があるので注意しましょう！

冷却水は劣化するということがないので、頻繁に交換する必要はありませんが、価格も安いですしオーバーヒートが起きてからでは遅いので、車検ごとに交換しておけば問題ないと思われます。

### (3) オートマチックオイル

オートマチックオイルは、エンジンオイルのように潤滑の役目ではなく、動力伝達の役目をうけています。

オートマチックオイルの交換時期は特に定められていませんが、一般的には4万 km 前後での交換で大丈夫だと思います。

ただ、車種によっては交換サイクルが早いものもあるので、ご自分の乗られている車の取扱説明書で確認することをおすすめします。

オートマチックオイルは劣化が進むと変速ショックや加速不良、燃費悪化につながります。

オートマチックオイルに関する不具合で多いのは、劣化によるものよりも使用するオイルの種類を誤ったことによる不具合です。

オートマチックオイルは、指定されたオイルでなければ正しく機能しないことが多いので、特にカーショップなどで売られている汎用のオイルを入れている方は、燃費悪化や加速不良などの不具合がないか確認してみてください。

また、指定以外のオイルを入れていることが分かった場合は、すぐにディーラーで指定オイルに交換してください。オートマチックオイルは一度の交換で完全に入れ替えることができないので、数回に分けて交換する必要があります。

#### (4) ブレーキオイル

ブレーキオイルは、ブレーキペダルを踏んだときの踏力を油圧でブレーキパッドまで伝える役割をしています。

ブレーキオイルを長期間使用していると、ブレーキオイル内の水分量が多くなり、オイルが沸騰する温度が下がってきます。

また、山道の下り坂などでブレーキを頻繁に踏み続けると、ブレーキが過度の熱を持ち、その熱がブレーキオイルを過熱し、沸騰させてしまいます。

ブレーキオイルが沸騰すると、オイル内に気泡が発生するので、ブレーキペダルを踏んだ力がブレーキに伝わらず逃げてしまい、ブレーキが利かなくなってしまう(ベーパーロック現象)。

ブレーキの踏みすぎはいけません！エンジンブレーキを上手く併用してくださいね！ブレーキパッドの節約にもなりますし、燃費向上にもつながります(^O^)

ブレーキオイルの交換基準は水分吸収量で判断しますが、一般の方は測定することができませんので、車検のときに交換するとよいと思います。

## (5) ベルト

ベルトというとタイミングベルトと言ったほうが聞きなじみがあるかもしれませんが、ここで触れるのは補機類のベルトについてです。

簡単に説明するとタイミングベルトはエンジンルームを開けても見えないベルト、補機類のベルトはエンジンルーム内で見えるベルトです。

補機類とはパワーステアリングのポンプ、発電機(オルタネーター)、ウォーターポンプ、エアコンなどのことで、自動車はこれらをエンジンの動力を借りてベルトで駆動することによって各性能を発揮させています。

上の説明から想像がつくかと思いますが、ベルトが切れてしまうと、切れた系統の補機類はまったく機能しなくなります。

エアコンのベルトが夏場に切れてしまったらサウナのような車内で運転を強いられます。

パワーステアリングのベルトが切れてしまうと急激にハンドルが重くなり操舵が困難になります。

ウォーターポンプ系統のベルトが切れると冷却水の流れが止まり、オーバーヒートをひきおこします。

発電機(オルタネーター)系統のベルトが切れると発電が行われなくなり、走行中でもエンジン停まる可能性があります。

交換の目安は、使用状況により変わります。また、ベルトはゴム製品なので、使用していなくても経時劣化します。

ベルトが鳴く音(キュルキュル)がしたら点検、調整しても直らなかったりヒビがひどかったら交換をオススメします。

## (6) エアークリーナー

エンジンは空気とガソリンが混ざった混合気に添加して爆発させています。空気は走行中の車の外気からエンジン内部に吸入しています。

外気をエンジン内に吸い込む際に、埃や異物がエンジンに入らないようにシャットアウトする役目を担っているのがエアークリーナーです。

エアークリーナーが目詰まりを起こすと、吸気抵抗が大きくなってパワーが落ちたり、燃調不良、燃費の悪化といった症状が現れます。

交換時期はエアークリーナーの種類(乾式・湿式・半湿式)によって異なるので、整備手帳などで交換サイクルを確認してください。

## (7) プラグ

プラグはエンジン内の空気とガソリンの混合気に火花を飛ばして点火する役割を果たしています。

プラグには『+ 電極』と『- 電極』があり、その電極間に火花を発生させています。走行距離が伸びてくるにつれて、プラグの電極に混合気の爆発によるススが付着したり、『+ 電極』と『- 電極』の距離が開いてきて火花が飛びにくくなります。

エンジンがかかりにくくなったり、走行中にエンストするようなことがあればプラグを交換するサインです。

交換サイクルが特に定められているわけではありません。



## (8) バッテリー

バッテリーはご存知のとおり、『充電式の電池』です。  
エンジンを始動させるためにバッテリーの電気を使っています。

エンジンを始動させたあとはオルタネーターが発電をするので、基本的にバッテリーは充電されている状態にあります。

クルマのヘッドライトやカーステレオなど、電気を使うものは全てバッテリーやオルタネーターの電気を使用して機能しています。

バッテリーが正常に機能し続けるためには、発電装置からの電気の供給量がバッテリーの電気消費量を上回っていなければなりません。

短い距離しか運転されない方や、週末くらいしか運転されない方、夜間運転の多い方はバッテリーの充電が十分になされていないかもしれません。

バッテリーは充電・放電を繰り返しているうちに、次第に弱ってきます。

エンジンがかかりにくくなったりしたらプラグ同様、バッテリーも疑ってください。

バッテリーの交換時期は種類によって幅がありますが、大体 2 年～5 年くらいでしょう。

ライトの消し忘れなどで一度完全にバッテリーが放電してしまうと、元の電圧まで電力を回復することはほとんど不可能に近いので、交換するしかなくなります。

私も実は3、4回はバッテリーをパーにしていまいしました(^\_^;)

車の路上トラブルは大抵、『バッテリー上がり』か『キー閉じこみ』ですので、気をつけましょうね！

## (9) タイヤ

タイヤは車の駆動力や制動力を路面に伝える役割をしています。

タイヤの交換目安ですが、まず、溝が減っていないかどうかの判断基準としてスリップサインというものが必ずあります。

場所はタイヤのショルダーやトレッド面に のしるしの近くで、溝の間に浅くなっている部分です。タイヤが摩耗して、溝の深さが残り 1.6mm になると現れます。

これは摩耗の限度を示すもので、濡れた路面でスリップしやすくなるなど危険です。またスリップサインがでると道路交通法により違法、車検にも通りません。

このサインがでたら絶対交換ですが、出ていなくても車本来の性能や安全マージンを考えると、半分くらい減ってきたら交換時期かなと考えていただいても良いかと思います。また、車による体差もあり、真ん中が減るのではなく、外側や内側だけ減る場合があります。内側は覗き込んでみないと解らないので、たまに奥まで覗き込んでチェックすることもお勧めします。

また、タイヤはゴム製ですので、ゴムの油分が抜けてくるとひび割れしてきます。どんなにいいタイヤを買っても、安いタイヤを買っても、経年変化なので基本的にひび割れをおこします。

早いと2~3年で、遅くても4年も経つと、タイヤの表面にヒビやしわが入ってきます。ヒビやしわが入ったタイヤは、ゴムの柔軟性がなくなり、乗り心地や静粛性が悪くなるだけでなく、エア漏れや、高速走行時等にヒビからバースト（破裂）する恐れもあります。

また硬くひび割れしたタイヤは、雨の日や冬など路面の温度が低いときのグリップ力が落ち、ブレーキを踏んでも止まらなかったり、滑ったりするので、タイヤの溝の有無に関係なく、3~4年経ったら交換時期と考えて下さい。

## (10) ブレーキパッド

ブレーキパッドとは、回転している車輪に対して摩擦力を発生させて車を減速させる大事な役割を果たしています。

ブレーキパッドは磨耗していくため、しだいに薄くなってきてしまいます。ブレーキパッドが完全に磨耗してなくなってしまうと、電車のようなブレーキ音が生じてペダルにもガリガリとした感覚が伝わってきます。

ブレーキパッドの交換時期は車種や走行状態によって大きく変化しますが、あえて走行距離で目安にするならばミニバンや大型のワゴン車など車重が重い自動車では約30000km、コンパクトカーで約50000kmが目安です。

ブレーキを踏んだときに『キーン』という音(鳴き)が出始めたら、交換の合図です。ブレーキパッドの残量がある一定のラインを割ると、ドライバーに知らせる意味合いでわざと音が出るような仕組みになっているんですね。

さいごに

いかがだったでしょうか。クルマは耐久品のようですが、実は消耗品が多く使用されていることがお分かりいただけたと思います。

新車で購入した車はほとんどノーメンテナンスでも大丈夫でしょうが、使用年数を重ねるにしたがっていろんな不具合がでてきます。  
これはどうしようもないことです。

しかし、メンテナンスをせずに大きなトラブルが発生してから修理をしていたのでは、かえって修理代が高かついたり、早々に廃車する羽目になったりします。

人間に置き換えればわかりやすいですね。  
日ごろから健康に気を遣っている方とそうでない方、小さな意識の差かもしれませんが、これが3年も5年も積み重なると大きな差になって現れてきます。

本レポートで紹介させていただいたチェック項目の(1)～(8)までは全てボンネットの中にあるものです。自分でボンネットを開けてチェックできればベストですが、チェックできない方はプロの方に定期的に点検してもらえば OK です。

クルマが苦手な方は、プロの方から難しい専門用語で『      を交換したほうがよい』等と言われると、言われるがままに従ってしまう方もいらっしゃると思いますが、本当にそれが必要なのかどうかをある程度自分で判断できれば、無駄な交換費用や修理費用を支払わずに済むことが多々あると思います。

意外と知らずに損していることって世の中多いですね。

その辺りも含めて、今後も私のメルマガの中で情報発信していきますのでご期待ください。

最後までお読みいただきありがとうございました(^O^)

よろしければこちらの無料レポートもいかがですか？

**【今日からできる！ガソリン代を節約できるマニュアル！】**  
～あなたは毎日ガソリン代をドブに捨てていませんか？～

レポート請求はこちらから <http://setsuyaku.kuruma55.biz/>

無料メールマガジン

【 毎週3分！知っててよかった「クルマ」の話 】

<http://www.mag2.com/m/0000201596.html>

- ・ 発行責任者 ： 快適カーライフ情報館 山下晃弘（やましたあきひろ）
- ・ サイト紹介 ： <http://www.kuruma55.biz> 『快適カーライフ情報館』
- ・ 驚異の燃費向上パーツ「ロケットパワーにんじん君」  
<http://ninjinkun.news110.biz>
- ・ お問い合わせ ： [info@kuruma55.biz](mailto:info@kuruma55.biz)
- ・ 【注意】本文章の内容は、無断で転写・複写・コピーを硬くお断り致します。